

## 屋久島異文化交流セミナー・ホームステイプログラム 2014 実施報告書

鹿兒島大学留学生センター

大嶋 眞紀

市島 佑起子

本報告は、平成 26 年 8 月 26 日・27 日に実施した「屋久島異文化交流セミナー」及び 8 月 28 日から 8 月 30 日までの「屋久島ホームステイプログラム」の実施状況に関するものである。セミナー実施は、平成 24 年 3 月及び 8 月に実施したセミナーのあとを受けて準備された 4 回目の企画であり、学長裁量経費を認められた。6 月には、屋久島環境文化研修センター(以下、研修センターと略)担当者 1 名の訪問を受け、準備のための意見交換を行った。7 月には学生募集を行い、セミナー参加者の抽選会を行った。セミナー参加希望者が募集人数を大きく上回ったため、抽選となった。ホームステイ参加希望者も同様に希望者が多かったため、その選考は研修センターが行った。その結果、セミナー参加者 15 名、ホームステイ参加者 20 名が確定した。8 月 19 日には事前の説明会を実施した。なお、セミナー参加者中 1 名が出発当日、体調不良のため参加をキャンセルし、セミナー参加者は 14 名となった。本報告書の執筆は「異文化交流セミナー」の部分と「まとめ」を大嶋、「ホームステイプログラム」の部分を市島が分担している。

## 1. 異文化交流セミナーについて

### 1.A 実施状況

異文化交流セミナーは、今回もポスターセッション形式とした。例年、郡元キャンパスで実施しているポスターセッションが盛況であり、県内他地域での開催を望む声などもあるため、14名の留学生が、それぞれ制作したポスターに基づき、口頭発表を行い、来訪者が自由に質疑応答をする形式とした。しかしながら、郡元キャンパスでのポスターセッションとは異なり、屋久島では夜間の開催であり、また来訪者が限られているため、活発な交流が行われるかどうか多少の不安はあったが杞憂であった。出発当日は、留学生14名が集合時間にも遅れず、種子島・屋久島フェリー乗り場に向かい、10時20分発の高速船に全員元気いっぱい乗り込んだ。13時安房港に到着。送迎バスに乗り、ヤクスギランドに向かった。ヤクスギランドでは50分コースを2時間かけて散策するコースを歩いた。研修センターの担当者がグループごとに屋久島の自然、環境、植生などについて丁寧に解説をしてくれたため、留学生にとっては、日本語聴解という意味でも有意義な体験となった。夕方5時、研修センターに到着。館内オリエンテーションを受けた。竹本研修センター研修課課長による英語・中国語によるスピーチは喝采を博した。そして6時から、夕食と異文化交流セミナーを開始した。留学生センター長(大嶋)と根建屋久島環境文化財団館長の挨拶、溝口屋久島環境文化財団事務局長の乾杯の音頭で会食が始まった。

異文化交流セミナーには、ニュージーランド派遣中学生、研修センターボランティア、ホームステイ受け入れ家庭の方々、財団関係者など約40名が参加し、留学生14名との交流を行った。各人が自由にポスターを見学し、発表を聞いて、質疑応答をするという形

式がどのように機能するか気がかりであったが、会場は熱気に溢れ、予想以上の盛り上がりを見せた。どのコーナーも熱心に聴講するものや、会話が弾むものなど、大変な賑わいで、真の意味での異文化コミュニケーションがとれたのではないと思われる。

発表者のうち数名は初級レベルの日本語能力しかなかったため、十分に対応できないのではないかと心配したが、8月上旬に郡元キャンパスで1回ポスターセッションを体験していたためか、笑顔を絶やさず、のびのびと発表を行っていた。また本年はセミナー参加者の大半は、郡元キャンパスのポスターセッションとは別にポスターを制作し、事前の口頭練習は必ずしも十分ではなかったが、口頭能力の高い学生が多かったのと、当日の学生自身の奮闘により、セミナーは大変充実した内容であった。地域住民や子供たちが留学生と活発に交流している様子も見られ、なかなか有意義な交流が行われていると思えた。またボランティアグループによる屋久島固有の手作りのお菓子も大変好評であり、その心あたたまる「おもてなし」に一同感動しきりであった。ポスターセッションの発表者の出身国は、フィリピン、タイ、韓国2名、中国10名で、中国人留学生が多数であったが、これは公平な抽選の結果でもあった。8時すぎにセッションを終了し、研修センターの牧さんの司会で、留学生2名のスピーチ、竹本課長の閉会の挨拶、そして8時半すぎに散会した。

翌日は朝食ののち、8時40分研修センターを出発し、千尋の滝に到着。雄大な流れをバックに写真を撮った。続いて大川（おおこ）の滝に向かい、ドライブと絶景を堪能。さらに今年は、世界遺産地区を通過するドライブコースを進み、永田いなか浜にも立ち寄ることができた。海ガメの産卵について研修センターの牧さんの説明を受け、またバスの車中でも屋久島についての様々なエピソードを紹介いただいた。その後、一湊海水浴場で昼食。食後には、数名の留学生が海水浴を楽しんだ。2時すぎ、宮之浦港近くの観光物産店に移動し、おみやげを買ったあと、屋久島環境文化村センターの施設を見学、大型スクリーンによる屋久島の映像を堪能し、5時15分の高速船で帰途についた。今年は台風とも遭遇せず、往路、復路とも船旅は快適であった。（文責：大嶋）

### 1. B 異文化交流セミナーのアンケート結果について（対象14名）

（注）自由回答についてはできる限り原文に近い形で日本語の間違いを修正しました。

		とてもよい	まあよい	あまり よくない	よくない
1	募集方法	12名	2名	-	-
2	事前説明	13名	1名	-	-
3	1日目ヤクスギランド	10名	4名	-	-
4	1日目異文化交流セミナー	11名	3名	-	-
5	2日目島内めぐり	11名	3名	-	-
6	食事	9名	5名	-	-
7	船やバスの移動	14名	0名	-	-
8	フリータイム	12名	2名	-	-

\*

\*時間がちょっと足りなかったです

## [6 食事へのコメント]

- ・事前に食事を用意してくださってとてもよかったです。「つのまき」とても美味しかったです。
- ・食事はおいしかったです。団子が大好きです。本当に美味しかったです。
- ・おいしかったです。いつも「からあげほんぼ」「ほっともつ」の弁当ですが、はじめて、おしゃれな弁当を食べてうれしかったです。
- ・お弁当は冷たかった
- ・生もの食べられない人のことも配慮してくださってありがとうございます。
- ・oishii ^^                      ・very good                      ・とてもおいしかったです                      ・美味しかったです

## [9 今回の研修旅行で、一番思い出に残ったことは何ですか？]

- ・森、滝、猿、鹿                      ・異文化交流セミナー
- ・すばらしい自然風景を見て、道で猿とか鹿に出会った。
- ・鹿と猿がとてもかわいかったです。                      ・海水浴場での時間はやや少ないと思います。
- ・道路の横にいる猿や鹿は車が来ても逃げない。人間との関係が良い。
- ・縄文杉が見たかった。
- ・様々な木を知る事ができて楽しかった。
- ・島内めぐりでたくさんの野生動物や植物などを見てとてもよかったです。海水浴場の海はとてもきれいでした。
- ・私は田舎、親切な人、豊かな自然が大好きです。ずっと自然を守ってきた皆さんに感謝します。(原文英語)
- ・屋久島の人々の温かい歓迎。皆がとてもフレンドリーだった。(原文英語)
- ・一番思い出に残った事は、鹿児島県の屋久島の自然の豊かさ、とくに森・植物の種類の豊かさに驚きました。
- ・異文化交流の時間がよかったです。うまくできるかどうか心配でしたが、屋久島のみなさんがよく聞いて下さって、ありがたかったです。食べ物もおいしかったです。ヤクスギランドもとても美しかったです。ワニの姿の木などもありました。おもしろかったです。
- ・屋久島の方々に自分のふるさとのことを紹介することはすごく難しかったです。

## [10 今回の研修旅行で、新たに知ったこと、感じた事は何か？]

- ・屋久島島民が海岸沿いに住んでいる事は知りませんでした。
- ・100m 上がると、0.6 度下がるなどの豆知識を教えて頂き、とても勉強になりました。
- ・屋久島は冬の時、一番高いところに雪が降る。                      ・屋久島の色々な事をわかりました。
- ・私はもっと日本語を理解して話せるようになりたい！(原文英語)
- ・自然の素晴らしさを再発見した。屋久島は素晴らしく、私は友達に屋久島を絶対に勧める。(原文英語)
- ・親切な皆さん(原文英語)                      ・屋久島の事、色々勉強になりました
- ・自然資源、とても重要だと思います。                      ・自然環境の大切さを知りました。
- ・世界遺産に登録されたのは 1993 年で、まだ歴史が長くないが、杉の命がとても長い事に驚いた。

- ・屋久島が世界自然遺産という事を知りました。屋久島はただの観光地だと思っていました。
- ・初めて離島に行って、自然と触れ合う機会を持てて本当によかったです。自然に対する認識を今後も深めていきたいと思います。この屋久島の海で泳げたことはとてもすばらしい思い出です。
- ・屋久島という島、そして世界自然遺産としての屋久島の自然の魅力を強く感じました。こんなすばらしい離島がある事は、昔(鹿児島に来る前)知りませんでした。原始の状態を保ったままで残っているのはすばらしいと思います。そして、大自然を大切にする日本の方の心に感銘を強く受けました。

#### [11 研修旅行への要望や改善点があったら書いてください]

- ・完璧です。 ・宿泊所ではなく、外でキャンプをしたほうが良いと思います。
- ・今回の研修旅行はとても配慮のいい、スケジュールもいいプログラムだと思いますが、見る価値のある所を、もうちょっと時間をいただいて回らせていただければ、もっと深い体験ができると思います。

#### [12 何か付け加えたい事があったら自由に書いてください]

- ・いい思い出がつかることができて、ありがとうございました。 ・ありがとうございます。
- ・二日間お世話になりました。ありがとうございます。チャンスがあれば、またお会いしましょう!
- ・和食を食べる機会があったら、もっと良いと思います。

#### \*アンケート結果について (異文化交流セミナー)

4段階評価の部分については、おおむね好評であった。今回は船による移動について否定的コメントはなかった。自由コメントでは、財団や地元の人々と交流できたことを思い出としてあげているものが目立った。自然の豊かさ、自然を大切にする地域住民の生き方などについての記述があった。もう少し時間をとって見学したいという声もあったが、スケジュール等についてもおおむね好評であった。ポスターセッションも同様である。抽選方法については過去の経験を踏まえ、慎重を期したため、とくに異論はなかった。全体的に異文化交流セミナーについては、方法、内容とも評価が安定したという印象を受ける。

(文責：大嶋)

## 2 ホームステイプログラムについて

### 2.A 実施状況

8月28日から2泊3日のスケジュールで、留学生20名参加のホームステイプログラムがスタートした。朝、大学本部前に集合後、バスでフェリーターミナルへ移動し、種子島経由のトッピーで屋久島へと出発した。今年度は昨年度までと異なり、異文化交流セミナー(留学生14名参加)とホームステイプログラムを完全に切り離した別日程で行い、屋久島到着後のホームステイプログラムについては、主催者である屋久島環境文化財団の皆様におまかせする形となった。そのため、本節ではプログラムの詳細説明は省き、実施スケジュールを最後に掲載する事で報告とさせて頂く。

今回のホームステイプログラムは、事前準備からプログラム終了まで、財団スタッフの皆様にご尽力いただき、無事に実施する事が出来た。留学生センターでは、留学生への情報通知（ポスター作り、掲示、声掛け等）、申請補助（申請書類作成、申請受付、学生からの質問対応等）、事前指導（説明会等）を主として、本プログラムの実施を支援した。募集開始時から振り返ってみると、申請の段階で、定員 20 名に対して 39 名という約 2 倍の応募があった。牧さんを中心とする財団スタッフの皆様によって、出身国や性別等、様々な基準をご考慮頂いた留学生の選抜が行われ、日本語上級者を中心とした 20 名が決定した。20 名の内訳は、中国 11 名、韓国 3 名、ドイツ 2 名、ブラジル・スペイン・ポーランド・トルコが各 1 名であった。参加者決定後は、留学生への多言語での連絡や説明日の日程調整等、異文化交流セミナーの準備と並行して連絡・調整を行った。また、前半の 2 日間、国際事業課留学生係の職員 1 名が同行し、現地での調整・対応を行った。参加学生はというと、高速船出発直前まで不安な様子も見られたが、帰ってきた際の様子やアンケートから、非常に充実した 3 日間を過ごした事は明らかであった。学生達の具体的な意見は「2B アンケートについて」をご覧いただきたい。

今回も、参加者皆がそれぞれの立場、思いを持ちながらも、共に考え、学び、思いやり、楽しむことができたという意味で、世界遺産の島・屋久島に見守られた、温かい国際交流の場になったのではないかと考えている。この場を借りて、関係者の皆様に感謝申し上げたい。ありがとうございました。（文責：市島）

## 屋久島ホームステイプログラム 実施スケジュール(2014.8.28-30)

8/28(木)	9:00	大学本部前集合	留学生 20 名、青木(国際事業課) 計 21 名
	10:20	鹿児島港出発	大学スタッフ見送り
	13:00	安房港到着	財団スタッフ出迎え
	13:30～	★交流活動(安房中学校)	留学生 20 名、安房中学校参加者約 40 名  【計約 60 名参加】 1.留学生 2 名 代表ポスター発表 イレネ(スペイン)、ソウレイホウ(中国) 2.中学生の屋久島発表 3.グループワーク(中学生が質問)
	16:00	研修センター着	対面式(受入家族と対面)
	16:30～	各家庭へ	島内 10 家庭(全域) 財団スタッフ・青木 巡回

8/29(金)	-	各家庭でフリータイム	財団スタッフ・青木巡回 (青木は 29 日で 帰宅)
---------	---	------------	-------------------------------

8/30(土)	9:00	研修センター集合	
		→閉会式(受入家族とお 別れ)	
		★ヤクスギランド/紀元杉	大雨の為、ヤクスギランド中止
	14:50	文化村センター(映像学習)	
	17:15	宮之浦港出発	
	19:15	鹿児島港到着	業者バスで大学まで送迎

## 2.B ホームステイプログラムのアンケート結果について (対象 20 名)

(注)自由回答についてはできる限り原文に近い形で日本語の間違いを修正しました。

		とてもよい	まあよい	あまり よくない	よくない	無回答
1	募集方法	11 名	9 名			
2	事前説明	10 名	9 名			1 名
3	1日目 交流活動	11 名	7 名	1 名	1 名	
4	1・2 日目 ホームステイ	18 名	2 名			
5	3日目 ヤクスギランド	4 名	6 名	5 名	1 名	4 名
6	食事	15 名	5 名			
7	船やバスの移動	11 名	8 名	1 名		

※中止

8	フリータイム(お土産等)	10名	10名			
9	日本語コミュニケーション	13名	7名			
10	ホームステイ活動楽しんだ	19名	1名			
11	ホームステイ食事	20名				
13	ホームステイ環境	16名	4名			
14	家族と親しくなれたか	19名	1名			

### [6] 食事へのコメント

- ・おいしかったです！
- ・全部おいしい！
- ・まあまあよかったです
- ・和食っぽいですね！
- ・郷土料理がおいしいです
- ・すごくおいしかったです。種類も多いです。
- ・弁当が美味しかった
- ・一緒に作ったから楽しかった
- ・大好きなパッションフルーツなど、いろいろなものがあった。
- ・ホームステイ家族とたこ焼きパーティーをしたのが最高
- ・屋久島の多様な食べ物を食べる機会があったので、よかったです
- ・屋久島の手作り料理、みんなと BBQ、朝ごはん全部美味しかった
- ・全部材料から作った食べ物で、とてもよかったですと思います
- ・いっぱい美味しい料理を作ってください、食べ過ぎちゃった
- ・おにぎりももっとおいしければよかったですのに

### [12] ホームステイでの食事はどんなものをごちそうになりましたか？

意見も書いてください。(具体的な食事は省き、意見部分のみ掲載)

- ・全部美味しかった
- ・全部美味しかったです！
- ・いろいろな料理おいしい
- ・お母さんに作ってもらった食べ物はすごく美味しかったです
- ・いろいろな日本の特産料理を食べた。すごく美味しかった。
- ・いろいろごちそうになりました。
- ・色々な食べ物でした。とても美味しかった。
- ・とてもおいしかったです。麺類、肉類、パン類、全部食べさせて頂きました。
- ・サラダや漬物がたっぷりな2日間でした。
- ・はじめて手作りみそしるを食べた。
- ・たくさん作ってもらって、日本の家庭で食べたものの中で、一番おいしかった。
- ・@さん作ってくれた料理全部おいしいです！特にたこやきが一番大好き！
- ・美味しい朝ごはんを作ってもらったり、一緒に晩御飯を作る時に、刺身の作り方を教えてくれた。
- ・お母さん手作りの屋久島料理・夜の BBQ などすごく美味しかった。本当にありがとうございました。
- ・屋久島で栽培した色々な果物をごちそうになりました。  
今まで食べられなかった多様な果物の味が、自分は気に入りました。



味噌を作るのがこんなに大変な事だと思いませんでした。

- ・ 2日目の登山がは、一番疲れたけど楽しかったです。三年ぶりに登山して、大学(?)の事をたくさん思い出しました。ホームステイの家族と一緒に、いっぱい思い出をつくりました。
- ・ 子供たちと一緒にトトロの折り紙をしたことや、山・海・川に行ったことや、一緒におにぎりを作ったことなど、全部忘れられないです!
- ・ 一番思い出に残ったことは、屋久島の周辺を車で旅行したことです。昔、授業で屋久島は猿とシカが人々とともに共存して生活をしているという内容がありました。屋久島の周辺を車で旅行しながら、猿とシカが人々と一緒に共存している姿を、自分の目で直接見る機会があったので、一番記憶に残りました。

#### [16] ホームステイ中に困ったことはありませんでしたか?

⇒ 困ったことはなかった (17名) 困ったことがあった (3名)

- ・ (留学生) 2人のうち1人が、英語が話せるだけで日本語が話せないなので、交流がちょっと困りました。しかし、かえって英語が上手になりました。それはうれしいです。
- ・ 日本語がまだまだです。言葉の意味がわからないことがありました。正しい表現で話せたらよかったのに…残念なことがいくつかありました。
- ・ トイレがちょっと…

#### [17] ホームステイ全体について意見や感想を書いてください。

- ・ 日程や説明など、すべての事がいいと思います。 ・ 楽しかったです
- ・ 家族はとても親切な人で、色々な事を教えてくれた。家庭に行った経験は、一番勉強に役立つと思います。
- ・ ホームステイを通して、一般的な日本の家庭生活を直接体験することができました。テレビだけで見た日本の家庭で自分が実際に生活しながら、日本人の落ち着いた生活を感じる事ができました。また、人々の、自然の一部として、自然を大事に考えながら、自然の豊かさに感謝している心も、ホームステイ生活の中で感じられました。
- ・ ホームステイ全体について、少し長かったと思います。3日目のスケジュールは別にいらないと思います。全体を2日で終われたらもっといいと思います。それ以外は全部よかったです。
- ・ 本当に良かったと思います。普通、日本人の家族と付き合う機会がないので、参加できて良かった。
- ・ 親切で料理がとても美味しいお母さんにあえてよかったと思っています。もともと、こういう島で人々はどんな風に生活を送っているのか見て見たかったので、大変勉強になりました。これからも、お母さんとの絆が切れないように頑張ります。
- ・ ホストファミリーはとても親切であたたかくて、本当の家族のように感じました。色々なところに連れて行っていただきました…だけでなく、本当に家の内側に入れたのだ

と思います。かけがえのない体験でした。

- ・屋久島に来たのは、とてもいい経験だと思う。みんなとても親切です。日本人の生活を習えたのと、日本語を練習できたのはとてもよかったです。
- ・屋久島をめぐって、一周まわりました。屋久島の歴史や自然環境、食べ物など、色々勉強しました。ホームステイの家族はとても親しくて、ご飯を作ってくれたり、悩み相談もしてくれました。本当に楽しかったです。
- ・すごく楽しかったです。山道でちょっとよったけど、みんながやさしくしてくれて、ホームステイのお母さんも親切で、感動しました！
- ・情熱を持って迎えに来て下さって、とても心より感謝しております。このつながりをずっと保っていきたいなあと考えています。よろしければ、屋久島の皆様に鹿児島へ来てほしい。自分の国の得意料理を作ってさしあげたいと思います。
- ・日本の家庭に泊まる機会があまりないけど、今回できてありがたかったです。海に行くと水泳できるようになったし、都会ではぜんぜん見られない流れ星、いい出会いが大切な思い出になると思います。
- ・おかあさんもアメリカから来たばかりですが、性格がオープンで、交流しやすかったです。
- ・珍しかったと思う。ホストファミリーとのコミュニケーションもすごく良かったと思う。もっと長ければよかったですなあと思う。
- ・最初は照れたりして、親しくなるまでちょっと時間がかかったんですが、だんだん仲が良くなって、楽しい時間を過ごす事ができました。日本の一般の家庭に泊まる事はなかなかないから、今回できてうれしかったです。良い経験になりました。
- ・この度のホームステイを通して、日本の家庭を楽しい時間を過ごした。いろいろな日本文化をもっと深く感じた。そして、日本人と付き合っ、日本人の思いやりや思想をもっと見つけた。家の人やさしくて、親切で、これからはずっとつながりたい。
- ・みんな本当にやさしくしてくれた。お父さんはおもしろい。お母さんはいつもいっぱい美味しい料理を作ってくれた。@、\*、& (ホストファミリー 3名) も親切にしてくれた。いっぱい思い出ができた。
- ・とてもよかったです。やっぱりホームステイが一番面白いプログラムです。
- ・とても嬉しかったです。ホームステイのホストの皆さん、ありがとうございました。

#### [18] 今回の研修旅行で一番思い出に残った事は何ですか？

- ・みそ作りの事です。 ・全部です^^
- ・海で泳いだ事です。本当に楽しかったです。
- ・はじめて自分で作った刺身を食べたことです。 ・屋久島の人と自然です。
- ・子供と海に行つて、貝をとつて泳ぎました。 ・ホームステイ
- ・はじめて海に行つて、体と心で海の魅力を感じたことです。
- ・引率のマキさんは、面白くて元気いっぱい、みんなのことを気遣いながら屋久島のことを教えてくれました。おかげで、バスの中でも退屈しませんでした。
- ・ホームステイの家族と一緒にテレビを見ながら話したこと。そして、60歳のおばあさ

んが私達をつれて山に登ったことはすごくびっくりした。若者よりもっと元気で、帰ったら、そのままご飯を作ってくれたのに、私達は動けなくなった。感動した。

- ・白谷雲水峽に行ったことです。もののけ姫の影響でいつかそこに行きたかったんですが、やっと思行けて本当にうれしかったです。
- ・海が楽しかった。海のきれいさに感動した。最後の雨がちょっと残念だったけど、いい思い出になった。
- ・温泉、可愛い子供、大川の滝、この経験の中で一番印象深いのは、「横河溪谷」という所です。

おすすめです。

- ・もののけひめの舞台になった森が、やはり一番記憶に残りました。山を登りながら、見事な景色を見られる所です。体力がなくてちょっと心配しましたが、ゆっくり休みながら進んで、色々な説明をしてもらいましたので、ただの山登りではありませんでした。本当に楽しかったです。
- ・天気は水物ということを感じています。見学した時、ひどい雨が降りました。
- ・家族と遊んだこと。屋久島をよく知っているなので、いい場所を見せてもらいました。一人で行ったら、どこに行くのか、何ができるのかわからないし、失礼な事をしたくないから、日本人と旅行した方がいいと思いました。
- ・研修旅行で一番思い出に残った事は、ホームステイです。日本で初めてのホームステイ経験なので、本当に貴重な思い出になりました。
- ・はじめてさんごを見ました。@さん(ホストファミリー)のおかげで^^
- ・今回の研修旅行で一番思い出に残ったことは、屋久島環境文化村センターで映画を見た事です。屋久島の歴史と環境について見ながら、屋久島の人々が自然に対してどのように考えるかと、どのように自然と共存しているかについて学べる時間だったからです。

#### [19] 今回の研修旅行で、新たに知ったこと、感じた事は何ですか？

- ・自然の美しさ
- ・屋久島の珍しい事をもっと詳しく知る事ができた。
- ・屋久島の生活を知る事ができた。ホームステイ家族ともう一度会いたい気持ちになった。
- ・今回の研修旅行で、屋久島の人々は自然を生存競争の相手としてではなく、共存する存在として、考えている事を新たに知りました。例えば、岳参りや縄文杉や切り株更新、猿や鹿との共存などがあげられます。今まで私達は、自然を破壊してきましたが、これからは、屋久島の人々のように、自然とともに共存して生きる考え方が必要だと思いました。
- ・日本人の家庭は全部厳しい人ばかりだと思ったけど、今回、優しい家族に出会って、すごく楽しい時間を過ごしました。
- ・もっとも感じたことは、屋久島の美しさです。屋久島という名前をよく聞きましたが、どのぐらいきれいなのかよく知りませんでした。旅行のおかげで、綺麗な風景を見る



恐れがあるからです。

- ・個人的に改善してほしいところは、時間の調整です。もう少し短かったらもっといいと思います。
- ・くねくねした山道を走って、車酔いしました…今回はヤクスギランドでしたので、次回は海での学習があれば楽しいと思います。
- ・悪天候のせいで山登りの予定が中止になってしまいました。緊急事態をあらかじめ考えて、いくつかのプランを立てたほうがいいと思います。
- ・外国人が旅行できる案内がほしいです。また、交通がもっと便利になったら嬉しいです。
- ・地元の人々とのコミュニケーションをもっと増やしてほしいです。

### [21]何か付け加えたいことがあったら自由に書いてください。

- ・この3日間お世話になりました。雨のせいで計画通りにいかなかったけど、とても楽しい旅になりました。これからもこのような素敵なイベントが行われますように。
- ・とても楽しかった。本当におすすめします。
- ・ホームステイのプログラムを実施するために気をつけてくれたすべての人々に感謝したいです。ホームステイプログラムのおかげで、私は良い経験をする事ができました。
- ・ホームステイファミリーの皆さん、ありがとうございます！
- ・こんなすてきな経験ができて幸せです。スタッフのみなさん、ありがとうございます。
- ・皆さん、たいへんありがとうございました！
- ・本当に楽しかった。もし機会があれば、もう一度屋久島に行きたい。
- ・ありがとうございました！

### \*アンケート結果について(ホームステイ)

1日目の交流活動やフリータイム等、一部項目で評価が分かれたが、プログラム全体を通して、おおよそ満足した様子が伺える。「まあよい」より低い評価が多かった項目については、来年度以降の反省・検討材料としたい。また、自由記述は、ほとんどが各家庭での心のこもったおもてなしに感謝する内容となっており、屋久島の皆様が学生達を暖かく迎えて下さった事が、強く印象に残った様である。昨年に比べて自由記述の量が非常に多く、かつ、それぞれが具体的である為、あえてまとめずに全意見を載せた。中身を見ても、一つとして同じ意見がないという事自体が、一人一人、それぞれの家庭で充実した時間を過ごさせて頂いた証ではないかと感じている。(文責：市島)

### 3 まとめ

4回目となる「屋久島異文化交流セミナー」、そして3回目の「屋久島ホームステイプログラム」、いずれも充実した事業であった。期間、内容はそれぞれ異なるが、いずれの事業も、留学生と屋久島の住民がどのようにして相互理解を深められるかという先駆的試みで

あった。言語の壁、国籍の壁、世代の壁を双方がどのようにして克服していったか、そのプロセスが極めて重要なものとなる。今回も、一日目の夜の「異文化交流セミナー」で、地元の中学生のほか、屋久島環境文化財団のボランティアの方々やホームステイの受け入れ家庭の方々とも相互交流を深めることができたため、その達成感は最高であった。本事業を今後どのように発展させ、継続していくかは、今回収積したデータ、アンケート回答資料等を合わせて、今後の判断材料とする考えである。

また屋久島環境文化財団・環境文化村センター・環境文化研修センターのスタッフの方々と屋久島の地域住民の方々が周到に準備を重ねてくださったホームステイプログラムも、大変充実した内容であったように思う。留学生は常日頃から日本人がどのような日常を過ごしているか、日本人の「普通」の生活を知りたいという希望があり、今回の短い滞在でもその一端を十分に知り、また日本人と心を通わせることの意味を体得したのではないかと思われる。このようなささやかではあるけれども、心のこもった小さな交流が、国と国との利害対立を越える土台となっていくであろうとの期待もこめて、今後も相互交流の実績を積み重ねていけたら幸いである。

本事業の実施にあたり、渾身のご支援、ご協力をいただいた屋久島環境文化財団・環境文化村センター・環境文化研修センターの皆様、鹿児島大学学長及び事務局、ホームステイ受け入れ家庭や安房中学校等の関係者のみなさま全てにこの場を借りて心より御礼申し上げます。 (文責：大嶋)

大嶋 眞紀 (留学生センター長・教授)

市島 佑起子 (留学生センター講師)